

合 意 形 成 と 情 報 公 開

平成 11 年 12 月 9 日

宇 賀 克 也

1. 開発の必要性の議論

- パブリック・アクセプタンスからパブリック・インボルブメントへ
- 審議会等の委員構成（アメリカの交渉による規制制定法の例）
- 審議会等の公開、議事録の公開
- パブリック・コメント 理由の提示
- 原子力開発の意義
エネルギー需給見通し、エネルギー資源の可採年数、
代替エネルギー開発のコスト、原子力開発をストップしたときの対応

2. 開発の負の側面

- 環境、安全性についての危惧（事故が起こったときの被害、安全対策）

3. 立地段階

- 計画策定手続、戦略的環境アセス
- 立地候補地、マイナスと振興策との比較衡量
- 負担と受益との乖離
- 嫌忌施設に係る N I M B Y 論は有害

4. 時のアセス

5. 稼働段階

- 事故情報の迅速な公開の徹底
- 安全性チェックシステム